

# 和泉だより

5 月 号

平成 28 年 5 月 2 日  
千代田区立和泉小学校  
千代田区神田和泉町 1 番地  
<http://www.chiyodaku-izumi-e.ed.jp>

## 表裏なし「おもてなし」

副校長 太巻 美青

毎年4月に見られる、大好きな風景があります。新6年生が新1年生のお世話をする姿です。朝の支度や掃除等を手伝っています。立場が人を育てると言うように、この活動を通して、6年生は急に6年生らしくなります。大変心温まるやりとりです。

先日、筑波大学客員教授であり、オリンピック・パラリンピック教育に携わって多くのご講演をされている江上いずみ先生のお話を伺う機会がありました。本校では、7月4日(月)に予定されている「社会を明るくする運動」で、講師としてご講演いただきます。江上先生のお話によると、「おもてなし」とは、「表裏なし」「心を以て為す」という意味なのだそうです。また「おもてなし」とは、「対価や見返りを求めないまごころの対応」「相手によるこんでもらいたいという気持ちで何かをすること」だそうです。先の1年生のお世話は、お客様相手ということではありませんが、6年生が表裏なく、心から「1年生のために」との思いで為している取り組みです。だからこそ、お世話する側にもされる側にも、周りの者にも、心温まるものを与えるのでしょう。

新年度が始まり1カ月が経ちますが、6年生のおかげで1年生は随分学校生活に慣れてきました。その他の学年の児童も、新しい学年・学級、新しい仲間との生活に慣れてきたところです。4月の保護者会で説明いたしました「和泉スタイル」(和泉小学校の生活規律・学習規律の手引き)等を基に、生活規律や学習規律に対する緊張感は持続させながら、児童一人一人の良さを発揮させていきたいと思えます。

また、上記のオリンピック・パラリンピック教育に関わり、本校は平成28・29年度「伝統・文化教育推進校」(東京都教育委員会)に指定されました。「日本の伝統・文化の良さを理解し、様々な国や地域の方に日本の良さを発信できる児童」「互いの文化を尊重した交流ができる児童」の育成がねらいです。2020年東京オリンピックも見通しながら、表裏なし「おもてなし」の心をもった、「人にやさしく 自分につよく 明るく元気な 和泉の子」を育てていきます。

### 「全校遠足」

特別活動部 加藤 達也

今年度の全校遠足は上野動物園に行きます。1年生から6年生で構成されたファミリー班で園内を歩き、様々な動物を見学します。

そして、オリエンテーリングに挑戦します。オリエンテーリングでは、「この動物の模様を描きましょう」や「動物の歌を歌いましょう」などといった課題が出されます。力を合わせて課題に取り組むことを通して、班の仲間意識を高めてほしいと思っております。

このファミリー班で1年間、一緒に遊んだり、給食を食べたりします。異学年での交流を通し、互いの信頼関係を深め、優しい声掛けがたくさんできる活動になるよう指導していきます。

### 「陸上記録会」

体育主任 今井 大地

6月1日(水)に、四ツ谷の外濠公園総合グラウンドで千代田区陸上記録会が行われます。区内8校の6年生が一会場に集まり、競い合います。種目は、100m走、50mハードル走、リレーです。

6年生は、陸上記録会に向けて4月当初からハードル走の練習に取り組んでいます。リズムカルに走り越せるように、友達とアドバイスをし合いながら練習しています。

和泉小学校の代表として、他校の児童と勝敗を競うとともに、自己の記録更新に向けて全力で頑張りたいと思えます。また、お互いを応援する姿、他校の児童の健闘をたたえる姿も大切にしていきたいです。